

Photo sketch

12/7 名選手たちと夢の交流 ドリーム・ベースボール

市制70周年を記念して、宝くじスポーツフェア「ドリーム・ベースボール」が開催されました。堀内恒夫さんや谷沢健一さんなど20人の元プロ野球選手が、小中学生に野球教室を行ったほか、市軟式野球連盟の選抜チームと試合を行いました。選抜チームの酒井健吉監督は、「スイングの強さや球の速さにプロのすごみを感じた」と振り返りました。



12/8 映画監督 塚本連平さん講演会 「夢について」

映画監督・ドラマ演出家として活躍する塚本連平さんが、母校の駄知中学校で生徒たちへ講演会を行いました。塚本さんは、「子どもの頃に映画を見たのがきっかけで好きになり、映画監督を目指した。挫折したこともあったが、映画への思いを持ち続けたことで、今の自分がある」と話し、生徒たちに「夢を持つ」ことの大切さを伝えました。

12/9 土岐ライオンズクラブから園児へ 絵本のプレゼント

土岐ライオンズクラブから、市内の保育園、こども園、幼稚園に240冊の絵本が寄贈されました。みなみこども園で行われた寄贈式では、園児たちが土岐ライオンズクラブの皆さんに「ありがとうございました！」と感謝の気持ちを伝え、元気いっぱいの合唱を披露しました。絵本を手にした園児たちは、読むのが待ちきれない様子でした。



12/13 秋の叙勲で旭日双光章を受章 林正太郎さんが紡ぐ志野の世界

秋の叙勲で旭日双光章を受章した陶芸家・林正太郎さんの個展とトークショーが市役所で開催されました。林さんは、志野を中心に独自の表現を追求してきた歩みを作品解説を交えて振り返り、「豊かな原料や陶片など多くの財産がある土岐市に生まれて良かったと感じる。自分が挑戦し続けることで次の世代につなげていきたい」と話しました。

市ホームページ「ときめきの瞬間」(HP1005004)でも市内の出来事を紹介しています。